



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

『明日に希望を持ち今日を頑張る生徒』

重点目標

『かしこく考え やさしく接し たくましく生活する』

葦山だより

住所:伊豆の国市葦山葦山393

電話番号: 055-949-1061

令和元年5月27日発行
第9号

『一隅を照らす』そういう人が貴いのです! 伊豆の国市立葦山中学校長 手島雅恵

3年生は修学旅行で比叡山延暦寺会館に宿泊し、お坊様から法話を聴き、坐禅体験をしてきました。私は、そのときの法話内容がとても印象的で心にすんと落ちてきました。特に「一隅を照らす、此即ち国の宝なり」という天台宗の開祖である最澄の言葉をあげて話された内容は、私たちが今の子どもたちに求めたい姿そのものでした。「そんな姿を示している人こそ、何物にもかえがたい貴い国の宝であり、与えられた場所で心を尽くすことができる人が大事にされる世の中でありたい」と今まで以上に願いました。

お坊様の言葉一つ一つが私たちに当たり前のことを誠実にしていく意義や価値を伝えてくれました。その一部を紹介します。

○今、自分が置かれている場所で、今できることを精一杯、頑張るんです。ほんの小さな明かりというのは、努力して取り組んでいるその姿なんです。そうした一人一人の明かりを大切にしていきたいです。

○頑張っている中、道に迷ったなら、そのときは大人に頼ればいいのです。自分の信じた道を進んでいくのです。そして、心の中に出てきた自分を、自分自身と重ね合わせていくことで人としての生き方や人生を修めていくことになるのです。

○「修行」と「修業」の違いは前者が行いを修めること、後者が業を修めることです。自分の行き先や人生を修めるのが「修行」なんです。やり方ではないです。思いを伝えていくのです。そのことで皆はその行動をするようになるんです。

○感謝の言葉である「ありがとう」は「有り難う」と書きますが、あり得ないことが起こることがありがたいのです。だから当たり前のことではないんです。「ありがとう」という言葉にそうした意味を重ねていくと・・・

○「坐禅」は人と人が大地の上で向かい合っている状態を示しています。一人は自分、もう一人は自分自身の心にいる自分です。坐禅は「自分探しの時間」です。「坐禅止観」という言葉があります。止観は心の動きを止めることです。「濁った水」は今の私たちの状態で、透き通った心の状態で物事を見つめ直していく、そんな時間と空間が坐禅です。

こうした法話の翌朝の坐禅の時間、朝5時15分、透き通った空気の中、静寂という感覚を子どもたちは肌で感じることができました。自分探しの人生、今その瞬間を大切に努力し続けていきたいですね。



法話の時間の様子です。翌朝の坐禅のやり方を伺いました。



授業に主体的に取り組む!

第2回授業参観会での子供たちの授業に臨む姿はどうでしたか。学ぶことには様々な意味があります。子供たちは「人として生涯学び続けていく力」を今しっかりと身につけていかなければなりませんね。ですから、能動的かつ主体的に50分間という授業を精一杯取り組んでいく自分自身をつくる必要があります。受け身の姿勢では自分の夢の実現や未来を切り拓いていく力には結びついていきません。それは、子供たちに授業を提供していく教師自身の姿勢と実践も問われることとなります。私たちは、授業後に「一時間の中で子どもたちにどんな力がついたのか」と自問自答します。子どもたちの反応を検証しながら次時につなげていきます。教科によっては、子どもたち自身が授業の最後に自己評価している場面も見ます。

さて、理科の実験をしていた写真のグループは全員が実験に対して、意思を持って活動していました。分かり方は一人一人違っているかもしれませんが、友達の考えを聞くことによって「そうか」と確認できていたようです。この実験から得たデータをもとに、どのような結論を導き出したのでしょうか。主体的に取り組むことで学びは深まっていきます。



自分や先生と
の対話の
中での
確認



理科の実験操作活動、グループ内で考察していく。



じっくり聞いて、何をどのようにするのか。先生の指導に向かう目がいい!



リス
を
A
の
先生
の
発
音
を
聴
いた
と...



チャレンジテスト実施

菫中では「基礎学力の定着を図ることを目的にして3教科(国・数・英)全校一斉チャレンジテスト」を定期的実施しています。誰でも繰り返し練習すれば満点がとれるテストです。継続は力なりで学級みんなで頑張っていく体制もあります。すべて満点をとるって素晴らしいことですね。

保護者の方からのご意見・感想
()年()組
(生徒名)

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。